

焼津市議会議長 様

令和 7 年 2 月 23 日

焼津市議会議員 石原孝之

政倫審についての弁明書

先日の政治倫理審査会を経て事実と異なる内容でそのまま審査されているので弁明します。

私は何度も議会事務局に説明していますが、やはり先日の審査結果を見てもまったく触れられていないです。一体なぜでしょうか？きちんと事実を確認した上で審査するべきです。また私的な関係という、こちらの事情が分かっている上で、あえてそこに触れるその言い回し方が、ものすごく汚いやり方と感じます。しかし、私がどう回答したにせよ、写真撮影だけで法人事務局長を同席させたこと、たったこれだけでモンゴル行政視察の行程のすべてが公私混同と位置付けることも遺憾の極みです。審査結果内容に(4) その他審査の過程で明らかとなった不適切な言動及び行為に関しても、石原個人の不適切の内容を肉付けしたいがために、最初の政治倫理審査会での審議内容より話が膨らみ石原自身を公に故意に落とす内容であること。ブレイキングダウンに関しては、もう全協で話が済んでいるにも拘わらず、またこの件がこの政治倫理審査会で上がってきていること。どれをとっても石原個人を議員として抹消したいがための集团的嫌がらせであると感じています。

【公文書の質問の回答である内容】

- ① ビャンバ副区長の回答 3 と 5、弊社の事務局長は介護施設も経営していないし、奥さんの担当している介護について焼津市とチンゲルテイ区との協力についてもそのような話もしてもいいないです。これは完全にビャンバ副区長は私とした話が、ごっちゃになっているだけです。このように誤った情報をもう一度しっかり先方に確認することもなく、審議されていること。
- ② 8月6日にトヤ氏との意見交換の際と8日に事務局長との同席が同じ日になっていること。6日に撮った写真と8日に撮った写真を提出し、写真をしっかり見てもらえれば誰でもわかりますが、トヤ氏の服装、私の服装が違うので明らかです。

【市議会事務局が私の通訳の2人に送った質問】

焼津市議会事務局は私の通訳に別行動であったことの事実関係を確認しているのにも拘わらず、その情報が審査内容に出てきていないこと。

